

タブレットを活用した授業実践

1年B・C組 国語科

単元名「図表を用いて報告する」において、言語活動の一環としてタブレット端末を活用しました。

生徒たちはあらかじめ、グループごとに学校生活の中からテーマを決めてアンケート調査を行っています。調査結果を集計し、レ

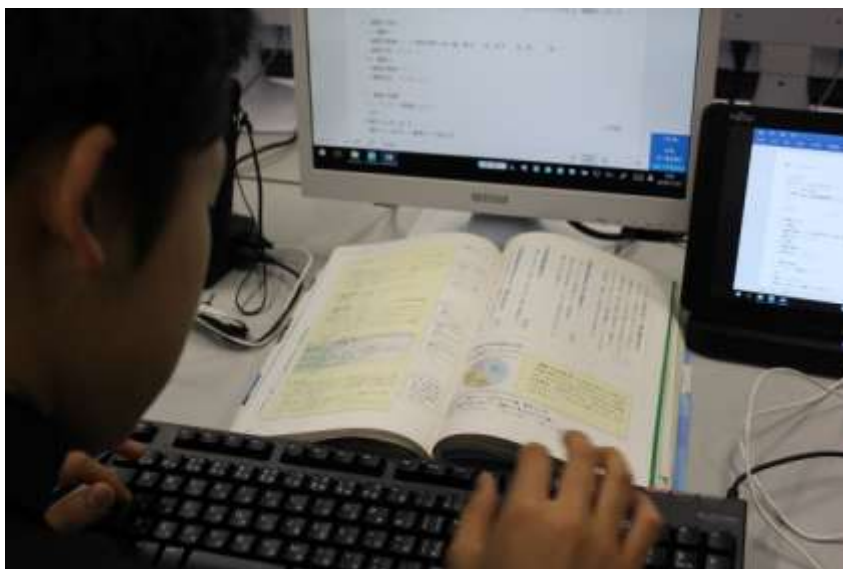
ポートを作成するためにタブレット端末を使用しました。

SKYMENUの一斉配布機能を使い、生徒にワープロソフトで作成したレポートの書式を配信し、その書式を使って、アンケート調査に係るレポートを

作成しました。アンケート結果をレポート内でグラフ化し、グラフの内容について説明していきます。

この時間では、グラフの作成までですが、国語の授業でも図表を適切に活用したり、作成したりする力が必要とされます。タブレット

活用にあたっては表計算ソフトの操作についても理解しておくことが大切です。



北斗市では、9年間の情報スキルをどのように身に付けていくかについて検討しており、小学校卒業までに、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの操作ができるようになることや、ローマ字入力によるタッチタイピングが



できるようになることが必須であると提案してきています。実際に、中学校では、上記のアプリケーションを日常的に授業で活用しています。例えば今回の国語の授業でも、グラフを作成するためには、もとなるデータが入力された



表がどのような意味を持つのかについて理解しないとグラフの作成はできません。データ処理とその読み取りが普通に教科書に出てくる、そんな時代に対応した授業を創り上げていく必要があります。今回の授業は

その一端を垣間見た授業でした。